

松原寺通信

第二十号 令和八年二月二十日
発刊 松原寺 彦根市松原二丁目
発行 責任者 佐々木 亮 釋亮真

親鸞聖人流罪の地

本願寺派には、北は北海道か

ら南は沖縄まで、約50の別院があります。中でも有名なのは東京の築地別院（2012年より築地本願寺に改名）や、昨年松原寺からバスでお参りに行きました、大阪の津村別院があります。今年3月のバス旅行では、神戸別院に行く予定をしています。こちらは、おかげさまで申し込みが満員になりましたのでここで報告させて頂きます。他にも、全国各地には立派な別院がありますし、大谷派の別院も同じ数くらいいります。さらに海外には、ハワイ、ロサンゼルス、シアトル、サンパウロなどにも別院があります。

す。何かの機会で近くに行かれた際には、ぜひお参りしてみして下さい。

さて、そんな別院についてですが、先日個人的に、国府別院にお参りして来ました。所在は、新潟県上越市の最南端の海沿いにあります。この地は、親鸞聖人が1207年承元の法難にて流罪を言い渡され、約7年間過ごされた場所です。京都から陸路と海路を使つて、国府別院のすぐそばの居多ヶ浜という砂浜に舟で上陸されたそうです。この時、荒れた日本海を揺られながら称えたお念仏が、大谷派の坂東節の起源の一つだと言われています。

この上越の地で親鸞聖人は、恵信尼さまとご結婚され



雪の国府別院

たり、法難によつて帰俗（僧侶から一般の人に戻る）させられ、俗名：藤井善信としての生活を送られました。しかし、俗人になつても信仰や布教についての気持ちは僧侶の時と変わらず、ご自身のことを、僧に非ず俗に非ず。非僧非俗の身であると言われ、懸命にお念仏の教えを広めて行かれました。

私は今、聖人のご旧跡を辿る計画を実行中で、次は茨城県にある稲田御坊を目指しています。ここは、聖人が関東で20年間布教された拠点だった場所です。新潟よりも、行くのが不便な場所ですが、時間を作つて行つてみたいと思います。

大谷本廟納骨について

前回の寺報で募集した結果、現在約18人の申し出がありました。私を入れて19人ですので、計画を進めていきたいと考えています。取り急ぎ、今わかる範囲の予算をここでお知らせしておきます。【中型バス20名・一人当たり約8000円 ※食事代、納骨冥加金は入っていません】

時期については、まだ先になりますが、来年の冬の土日を考えています。※まだ募集しています。

お知らせ

・松原寺公式インスタグラム
随時更新中！お寺の情報や住職の日常などをあげています。是非フォローして下さい。



松原寺
公式
インスタグラム